

質 問 書

2020年11月11日

「南米地域におけるソーシャル・インパクト・ボンドにかかる情報収集・確認調査（一般競争入札(総合評価落札方式)）」（公示日:2020年10月28日／調達管理番号: ）について、以下のとおり質問回答します。

通番号	当該頁項目	質問	回答
1	P.16 第2章 特記仕様書, 5. 報告書等 (成果品)	報告書等の成果品は、英文と和文が混じっています。第二次インテリムレポートとドラフトファイナルレポートが英文となっていますが、それらを英文のみとする意図をご教授ください。	和文のみは、主に本邦従事者が作業することを想定しているもの、英文のみは、主に特殊傭人や現地コンサルタントが作業することを想定しているものです。他方、コンサルタントとして、当方想定と異なる作業スケジュールがある場合、質が担保される限り、和文・英文のそれぞれ中間段階での報告書の言語に代替提案を提出いただくことは問題ありません。 これらの中間段階での報告書は内部（コンサルタントと弊機構の間、機構内部）で調査進行の議論を行うための材料であるため、敢えて翻訳費用をかける必要はない、と想定したものです。 他方、最終成果品は国外での用途を主としているため、フルバージョンは英文としつつ、和文サマリーの作成を求めています。

通番号	当該頁項目	質問	回答
2	P.19 第 3 章 技術提案書作成要領, 2. 技術提案書作成に係る要件・留意 事項, (2)業務量の目途	現地コンサルタントの報酬の予算目安があればご教授ください。	目安額は特段設定しておりません。
3	P.19 第 3 章 技術提案書作成要領, 2. 技術提案書作成に係る要件・留意 事項, (2)業務量の目途	約 9.5 人月とあり、現地調査が必要な場合には 19.5 人月とあります。現地コンサルタントを活用しながら、日本からオンライン参加を行うことを想定していますが、その場合、要員で 19.5MM で計算し、外部コンサルタントは現地備人費として計上することを考えていますが、その理解でよろしいでしょうか？	<p>現地調査のオンライン対応に要する人月は、国内作業に要する人月想定の一部として扱う想定をたてています。</p> <p>業務従事者としての業務量の目途は 9.5 人月です。コロナ禍により現地渡航が困難な現状を踏まえ、現地での調査が必要となる業務については、現地特殊備人を活用して実施してください。なお、現地での調査が必要となる業務は現地備人費 19.5 人月分を想定しています。</p> <p>但し、人月は、当方積算目安であり、業務実施方針と整合的である限り、コンサルタントがこれと異なる提案を行うことを排除するものではありません。</p>

以上